

採銅所地域づくり夢プラン



採銅所地域コミュニティ協議会

令和4年1月

目次

1	はじめに	P 1 ～P 2
	(1) 計画策定の趣旨	
	(2) 計画の期間	
	(3) 地域の現状	
2	基本構想	P 3 ～P 1 0
	(1) 地域の将来像	
	(2) 分野と具体的な取り組み	
	(3) 具体的な取り組みの進め方	
3	計画の推進	P 1 1 ～P 1 2
	(1) 採銅所コミュニティ協議会組織図	

1. はじめに

(1) 計画策定の趣旨

近年の採銅所地域の人口を平成24年と令和3年で比較すると、約10年間で317人減少しており、令和3年の高齢化率も46.9%と非常に高く、高齢化が進んでいます。このような中、香春町では、香春町学校再編事業により小中学校が統合し、採銅所小学校が廃校となりました。

私たちを取り巻く社会環境についても、住民意識の変化による近所付き合いの希薄化など、生活スタイルが大きく変化をし、また、近年では、豪雨災害や新型コロナウイルスなど、住民の安全・安心を脅かす自然災害や環境問題も発生しています。

今こそ、自分たちが住んでいる地域を自分たちで、よりよい地域にするために地域の課題を自分たちで見つけ、解決していく活動が必要です。

そこで、私たち自身が地域を見つめ直し、みんなで話し合いながら地域づくりをしていこうと、令和3年3月に地域内各種団体の有志を構成員に「採銅所地域運営組織設立準備会」を立ち上げました。その後、役員会や地域の皆さんとのワークショップを実施しながら、これから採銅所地域がどのような地域になるとよいかを考え、本計画の策定に至りました。

今後は、この計画の実現に向けて、採銅所小学校を核とし、地域の皆さんと共に積極的に活動していきたいと思えます。

(2) 計画の期間

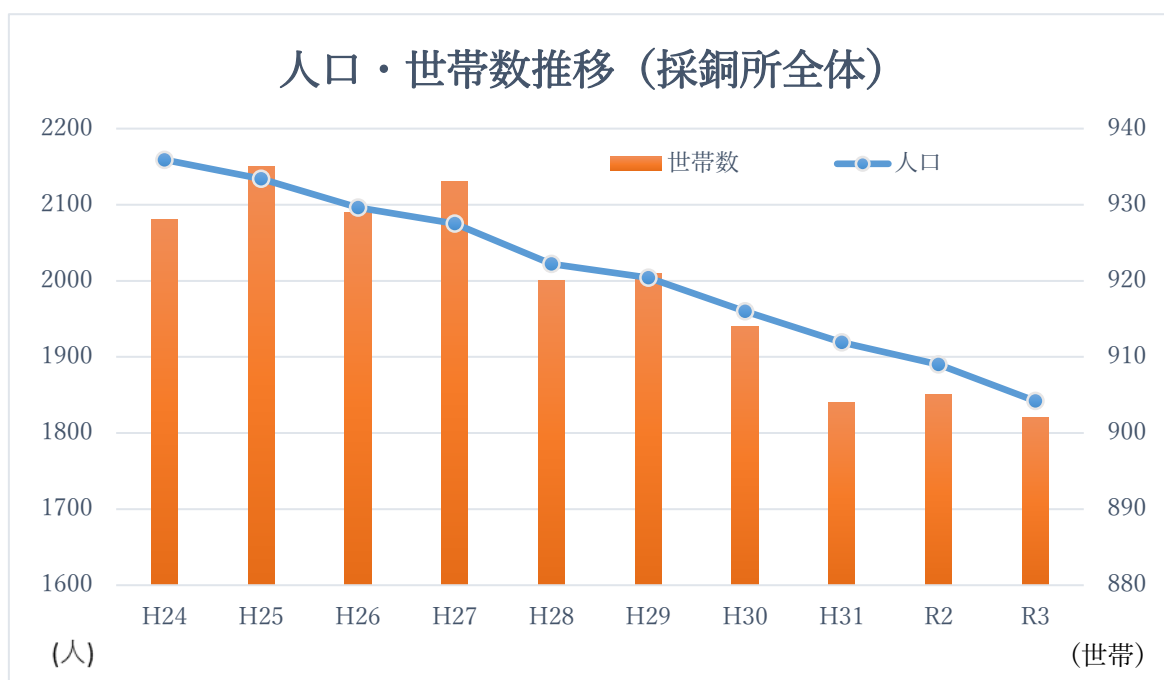
この計画は、令和４年度から令和１３年度までの１０年間の計画とします。

地域の問題点や課題を考えながら、「採銅所」の良さを感じ心豊かな生活を送ることができるよう、魅力ある地域づくりを進めていきます。

また、取り組みの内容については、状況の変化に応じ随時見直しを行うこととします。

(3) 地域の現状

平成２４年に２，１５９人だった人口は、令和３年には１，８４２人に減少しています。世帯数も平成２４年に９１６世帯から令和３年には９０２世帯と減少しています。



2. 基本構想

(1) 地域の将来像

みんなでつくろう！採 **do** 所コミュニティ

～自然を活かした持続可能なまち 採銅所～

【**d o** に込めた思い】

英語の動詞で使われる do には様々な意味があります。ここでの do 意味としても、「行う」「動く」「足す」「司る」「成し遂げる」といった d o が持つ様々な思いを採銅所のみなさんと形にしたいというものです。



(2) 分野と具体的な取り組み

取り組みを進めるための6つの分野と基本方針

<支援・交流・支え合い>

世代や地域を超えた交流を通して、誰もが助け合える地域をつくろう！

<遊び・学び>

子どももお年寄りも多世代が楽しく学べて遊べる地域をつくろう！

<稼ぐ・つくる>

地域の中で誰もが共に稼げる持続可能な地域をつくろう！

<農・自然>

子ども達がふるさとの自然と文化に誇りを持てる地域をつくろう！

<交通支援>

(採銅所小学校を起点に) みんなで助け合ってつながれる地域をつくろう！

<防災>

日頃の取り組みが防犯・防災につながる地域をつくろう！

<支援・交流・支え合い>

基本方針

世代や地域を超えた交流を通して、誰もが助け合える地域をつくろう！

現状と課題

- ・核家族化が進み世代間交流が少ない
- ・学校も廃校になり地域の集まる場所がなくなっている
- ・買い物ができる場所が少ない
- ・診療所・病院がない

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
★地域内外の人が活用できる交流の場を作る	◎		
学校に健康相談ができる場所をつくる		○	
保育所を学校へ移転させる			○
★学校を拠点とした地域内移動販売を実施し、高齢者（または、地域住民、独居者）の見守りを行う	◎		
地域で活動する人のボランティア登録をする	◎		

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

<遊び・学び>

基本方針

子どももお年寄りも多世代が楽しく学べて遊べる地域をつくろう！

現状と課題

- ・子どもが遊ぶ場所がない
- ・学校のプールで遊びたいのに廃校になり遊べない
- ・地域の歴史を地元の人知らない事が多い

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
★学校をカルチャーセンターのように使う (スポーツやジム、木工教室、料理教室、コーラス、園芸教室、体験活動、多世代交流、歴史教育、イベント活用 など)	◎		
プールを開放し子どもが夏休みに使えるようにする	○		
本を集めて図書室をつくる	○		
子どもの居場所づくりをする	○		
★インターネットが使える場所にする	◎		

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

<稼ぐ・つくる>

基本方針

地域の中で誰もが共に稼げる持続可能な地域をつくろう！

現状と課題

- ・朝市がなくなって寂しい
- ・特産品づくりを若い人にも伝えたい

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
★地域の物を販売した朝市（ふれあい市）を開催する	◎		
取り組み実現に向けての体制づくりをする（NPO 法人立ち上げや営農組織など）	○		
★地域の特産品作りをする（ゆず、白菜、高菜、きのこなど）	○		
学校を宿泊施設にする			○
学校をイベントスペースとして活用する	◎		

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

<農・自然>

基本方針

子ども達がふるさとの自然と文化に誇りを持てる地域をつくろう！

現状と課題

- ・ 農業の後継者がいない
- ・ 耕作放棄地が増えている
- ・ 野生鳥獣による作物被害がある

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
★コミュニティファームをつくる (使われていない農地を貸し出す)	◎		
★野菜を作っている農地の一部を貸し出し、野菜の作り方を教える	○		
農業機械の共同利用などの仕組みをつくる（営農組織）		○	
水辺生物（特にホタル）の生息環境をつくる		○	
長光で水車小屋を復活させ小水力発電を行う			○

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

<交通支援>

基本方針

(採銅所小学校を起点に) みんなで助け合ってつながれる地域をつくろう！

現状と課題

- ・交通の便が悪い
- ・公共交通が不便
- ・買い物や病院へ行く手段がない

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
★買い物や病院等への移動手段のニーズ調査を行う	◎		
★買い物や病院へ行ける交通手段を検討する	◎		
★交通手段についての試験運行をする	◎		
安心して人を乗せられる仕組みをつくる ・採銅所小学校を起点（ハブ）にした地域巡回車を運行する ・地域を巡回する地域巡回車を運営する	○		

(＊まずは、現在のコミュニティバスに乗って良い点や課題を感じてみよう！)

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

<防災>

基本方針

日頃の取り組みが防犯・防災につながる地域をつくろう！

現状と課題

- ・空き家が多くなっている
- ・防災への関心が薄い
- ・学校が避難所に指定されているので管理は地域住民がすべき
- ・消防格納庫が老朽化している

具体的な取り組み	実施及び検討時期		
	短期	中期	長期
防災の拠点（避難所）としての整備をする ・シャワールーム、ランドリールーム、大浴場、太陽光発電、バイオマス発電、キャンプ場の整備、食料やテントなどの備蓄倉庫	◎	○	
地域防災マップをみんなで作成する ・すでにあるマップの情報も参考にする ・公民館や子ども110番も入れる ・車での移動のルールなども分かるようにする ・お風呂を貸してくれる家なども把握しておく	◎		
地域ごとに避難訓練をする（体育館などで一泊など）	◎	◎	◎
消防格納庫の設置 ・既存の格納庫の移転 ・分団の統合なども検討する			◎

★…重点取り組み項目

実施…◎検討…○

（３）具体的な取り組みの進め方

採銅所地域づくり夢プランは、採銅所地域コミュニティ協議会及び地域住民が中心となり取り組みを進めるものです。分野ごとの取組については、実施部会を設置し、部会員を中心に進めます。分野ごとの取り組みに記載している「具体的取り組み」中、「実施及び検討時期」の目安としては、短期が１年～３年、中期が４年～７年、長期が８年～１０年を目途に進捗の管理を行います。また、★が付いている取り組みは、分野の中でも特に重点を置いて取り組みを進めるものです。

３．計画の推進

この計画は、採銅所地域の将来像の実現に向けて分野別の目標を定め、その課題と解決策の方向を体系的に整理し、自分たちの地域は自分たちで創り育てていくという理念に基づいた計画です。

具体的な取り組みの展開にあたっては、行政や区長会、各種団体等とも緊密な連携を取り、適切な役割分担をしながら取り組んでいくものとします。

また、この計画は、採銅所地域住民で情報を共有し、共に汗をかき、住民一人ひとりの主体的な参加と協力をいただきながら推進するものとします。

計画に盛り込まれている解決策や目標については、すぐ解決できるものもあれば、実現に多くの時間や財源を必要とするものもあります。皆さんの要望や提案などは年々変化してきますので、随時見直しを図ってまいります。

この計画の策定をスタート元年と位置づけ、行政と連携・協働しながら安心して夢と希望をもって生活できる魅力ある地域づくりを進めていきたいと考えます。

地域に関わる多くの人たちが「地域づくり夢プラン計画」の実現に取り組むことにより、「人と人とがつながる地域コミュニティ」として一層進むことを期待します。